


株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日
中間配当を行う場合の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店なら びに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店 で行っております。
住所変更等の お申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され ました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三 井信託銀行株式会社にお申出ください。
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によること ができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載 サイトアドレス	http://www.garage.co.jp/ir/financial_001.html
上場取引所	 (ジャスダック証券取引所)
銘柄コード	4819

株式会社デジタルガレージ

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷二丁目43番15号
お問い合わせ先電話 03-5465-7747
e-mail dg4819.ir@garage.co.jp
当社Webサイトアドレス <http://www.garage.co.jp/>
IRホームページアドレス <http://www.garage.co.jp/ir/>



Digital Garage
株式会社デジタルガレージ

第14期 Business Report

平成21年6月期 第2四半期



日に新た。

New Context New World

明日は、今日と同じではない。
人もまた、日々変わるからこそ、新しい発展がある。

株主ならびに投資家の皆様へ

株主ならびに投資家の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
平成20年10月に連結子会社㈱イーコンテクストをはじめソリューション事業を展開する5社と合併致しました。また、これらの経営統合に伴い、経営統合記念配当として、1株あたり5,000円の初配を実施させていただきました。

平成21年6月期は、グループ再編の初年度にあたり、㈱デジタルガレージに一体化したソリューション事業は、「Hybrid Solution Partner」を標榜し、アナログとデジタルのHybrid化を融合レベルから化学反応レベルへと高めることにより、「Direct to the Home」をワンストップでできる会社になるべく舵を切っております。具体的な成果としては、マイクロソフト社のオンラインサイト「Microsoft® Store」は、これまでの決済領域での信頼と実績、IT構築とプロモーション力が評価され、サイト構築・運営と決済までをお任せいただいた事例となります。

ポータル/ブログ事業におきましては、『価格.com』は、「購買支援サイト」として消費者から絶大なご支持を頂き、インターネット・メディアとして確固たるポジションを確立しつつあります。

最後に、インキュベーション事業ですが、前期よりシリコンバレー中心の事業型投資に戦略転換しております。投資先の米国Twitter社が提供する「Twitter」（ミニブログと言われ、個々のユーザーが「つぶやき」を投稿し合うことでつながるコミュニケーション・サービス）は、米国オバマ大統領が大統領選のキャンペーンに使用したことや、各界の著名人に利用されはじめたこと等から、Nielsenの調査で米国で最もトラフィックが伸張したソーシャルメディアとなっております。

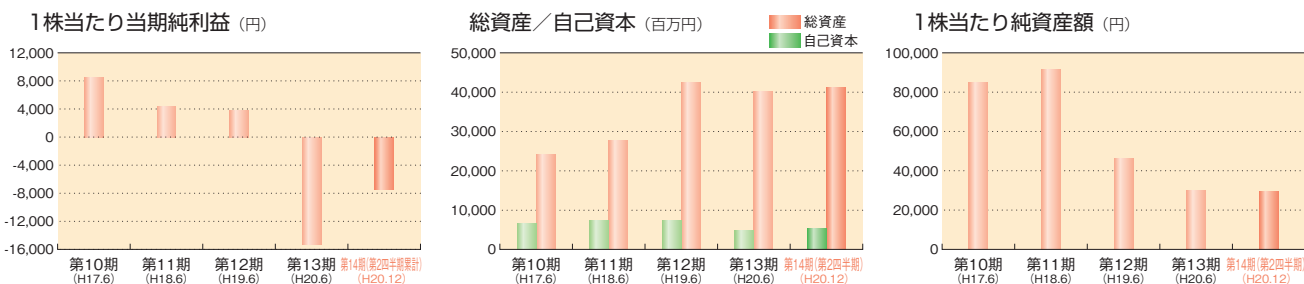
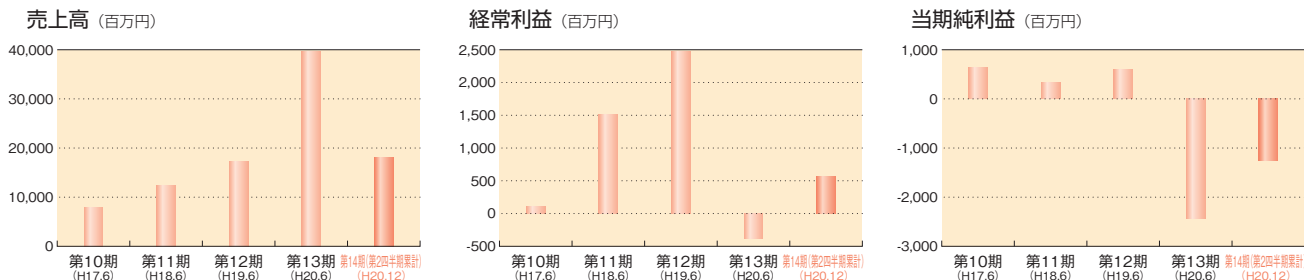
弊社グループの今年のテーマは、「日に新た。→New Context New World→」としています。激変するビジネス環境の下、デジタルガレージは、変化し続け、発展し続けたいと考えております。
今後とも株主ならびに投資家の皆様には、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



代表取締役/グループCEO

林 郁 (はやし かおる)

連結決算ハイライト



※平成18年12月31日を基準日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を致しております。

平成21年6月期(第2四半期)の連結業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安による株価下落、原油価格の高騰による企業収益や個人消費の低迷等により、景気は一段と悪化し、また今後の先行きについても一層の深刻化が懸念される状況となっております。一方で、当社を取り巻くインターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、平成20年9月末時点でブロードバンド契約数が2,900万を超えるなど、若干鈍化傾向にあるものの継続的な拡大基調にあります。

このような状況の下、連結子会社㈱DGコミュニケーションズ(平成20年11月1日より㈱創芸より社名変更)が不動産不況の影響で減収となったため、当社グループの連結売上高は18,051百万円(対前年同期比5.5%減)となりましたが、同㈱力カクコム業績の更なる向上に加え、前連結会計年度に行った赤字子会社の整理等の効果もあり、営業利益は691百万円(前年同期は営業損失181百万円)、経常利益は563百万円(前年同期は経常損失287百万円)と黒字転換致しました。

【ソリューション事業】

ソリューション事業におきましては、不動産広告を中心とした広告代理店である連結子会社㈱DGコミュニケーションズについては、昨今の不動産不況の中、一段と厳しい外部環境が続きました。同じく、クロスメディアでのプロモーションを展開するディー・アンド・アイベックスカンパニー(旧 ㈱ディー・アンド・アイベックス)につきましても、企業収益の悪化を背景とした企業の広告費支出の削減等により、同様に厳しい外部環境が続きました。また、決済・物流サービスを行うイーコンテクストカンパニー(旧 ㈱イーコンテクスト)におきましても、決済件数は継続的に増加しているものの、統合による一時的な費用を計上致しました。

【ポータル/ブログ事業】

ポータル/ブログ事業におきましては、連結子会社㈱力カクコムにおいて、購買支援サイト『価格.com』のみならず、レストランのクチコミサイト『食べログ.com』、旅行のクチコミサイト『フォートラベル』等、複数のサイトが月間利用者及びページビュー数を伸ばし、引き続きセグメントの業績を牽引致しました。

【インキュベーション事業】

インキュベーション事業におきましては、国内株式市場における新規株式公開数は激減し、非常に厳しい経営環境となっております。この様な環境の中、インキュベーションの成果として、保有株式の一部売却を行い利益確保に努めました。

(単位:百万円)

事業の種類別 セグメントの名称	第13期(中間期) 自平成19年7月1日 至平成19年12月31日		第14期(第2四半期累計) 自平成20年7月1日 至平成20年12月31日		前年比 増減額 (△は減)	前年比 増減率 (△は減)
	売上高	構成比	売上高	構成比		
ソリューション事業	14,517	76.0%	11,957	66.2%	△2,560	△17.6%
ポータル/ブログ事業	3,019	15.8%	4,167	23.1%	1,147	38.0%
ファイナンス事業	1,556	8.2%	1,797	10.0%	241	15.5%
インキュベーション事業	—	—	128	0.7%	128	—
合計	19,093	100.0%	18,051	100.0%	△1,041	△5.5%

(事業区分の変更)

従来、事業区分は「ソリューション事業」、「ポータル/ブログ事業」、「ファイナンス事業」、「インキュベーション事業」に区分しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「ファイナンス事業」に含めておりましたEコマース等の決済・物流業務を「ソリューション事業」に、外国為替証拠金取引業務及び保険代理店業務を「ポータル/ブログ事業」に統合し、「ソリューション事業」、「ポータル/ブログ事業」、「インキュベーション事業」の3区分に変更しております。

前年比較のため、従来の4区分で表示しております。

トピックス

新しい事業のご紹介



「Microsoft® Store」

グループ再編によりHybrid Solution Partnerを標榜する中、第一弾のグループマッシュアップ事業がマイクロソフト社が日本で初めて開設したオンラインストア「Microsoft® Store」となります。

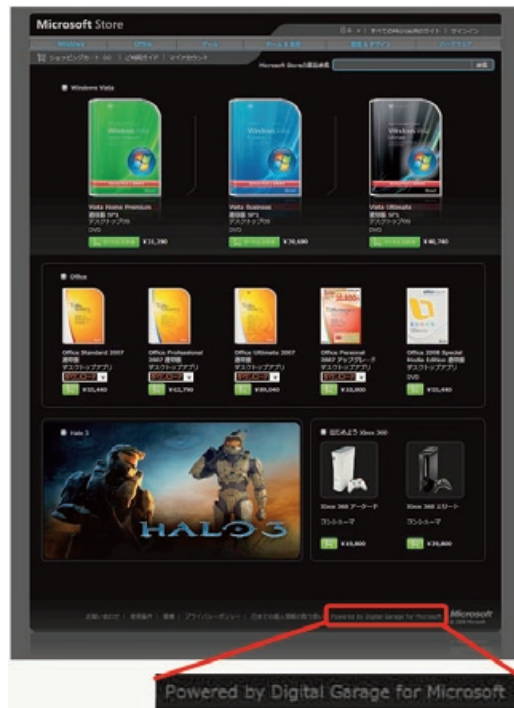
本プロジェクトにおいては、構築から運営までを一括でイーコンテキストカンパニーが受託し、DG&Ibexカンパニーと連動しサービス開発を行い、平成20年11月17日にサービスイン致しました。

イーコンテキストカンパニーは、平成17年9月にマイクロソフトの家庭用ゲーム機Xbox360®向けMicrosoft Points及びXboxゴールドメンバーシップの電子流通によるオンデマンド販売を皮切りに、平成20年8月にWindows Vista®に搭載されている「Windows® Media Center」向けに業界初となるWindows Vistaの独自テクノロジーであるMCML (*1) に対応した決済プラットフォームの構築を行ってまいりました。

*1 : MCML (Media Center Markup Language) とは、Windows Vistaの独自テクノロジーで、表現力豊かなビジュアルやダイナミックなレイアウトのユーザーインターフェイスを実現できるXMLベースの記述言語です。

今回の「Microsoft® Store」では、これまでのイーコンテキストカンパニーのマイクロソフト社との協業実績に加え、デジタルガレージグループ各社のノウハウ、経験、ソリューションが評価され協業パートナーに選定して頂きました。

現在は、収納代行およびサイトの運営はイーコンテキストカンパニーが担当し、システム開発はDG&Ibexカンパニーが担当しております。今後は更に、グループポータルなどのメディアを活用した集客支援を含め、「Microsoft® Store」をグループ一体となり全面的にサポートしてまいります。



twitter 「Twitter」

(株)DGインキュベーションが特に力を入れているのが、米国を中心とした海外のスタートアップ企業への投資事業です。なかでも平成20年1月に資本業務提携を発表したミニブログ・サービスを手がけるTwitter社は、順調にユーザーを増やし続け、世界中で最も注目を集めるソーシャルメディアに挙げられるまで成長しました。

特に米国では、オバマ大統領が選挙キャンペーンに活用したことで、一気に知名度が上がりました。

Nielsenが昨年秋に発表したSNSの利用状況に関するレポートによると平成19年秋からの1年間で最もトラフィックが伸びたソーシャルメディアはTwitterで、年間伸び率は343%とFacebookやMySpaceより大幅に高い状況となっています。

今後は日本市場での展開にこれまで以上に力を入れてまいります。



fotonauts 「fotonauts」

写真を扱うさまざまなサービスを統合することで「写真のWikipedia」の実現を目指すfotonauts社もこれからの成長が期待できます。一般ユーザーに対し、写真の整理、アップロード、共有などを支援することで、これまでとは異なるオンラインサービスの提供を目標としています。

fotonautsは、海外での注目度も高く、詳細が一般的に公開されていないプロジェクトであるにもかかわらず、昨年TechCrunchが評価する「TechCrunch50」に選出されました。

既にベータ版の限定リリースを始めており、現在は一般サービスの開始に向けて準備を進めています。



第2四半期連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期	前 期
	平成20年12月31日現在	平成20年6月30日現在
(資産の部)		
流動資産	30,988,836	29,855,003
現金及び預金	10,016,800	9,898,492
金銭の信託	5,637,009	4,431,418
受取手形及び売掛金	8,163,677	9,379,461
営業投資有価証券	1,507,805	1,730,527
投資損失引当金	△579,941	△491,441
仕掛品	366,627	147,029
原材料及び貯蔵品	4,889	6,018
繰延税金資産	113,788	200,378
未収入金	4,139,308	3,591,293
その他	1,754,712	1,017,198
貸倒引当金	△135,842	△55,373
固定資産	10,120,213	10,202,495
有形固定資産	425,433	408,865
無形固定資産	7,118,087	6,910,388
ソフトウェア	943,333	936,407
のれん	6,157,932	5,956,003
その他	16,820	17,977
投資その他の資産	2,576,692	2,883,241
投資有価証券	771,368	1,192,646
長期貸付金	19,468	5,791
繰延税金資産	2,656	5,159
その他	1,813,741	1,703,086
貸倒引当金	△30,541	△23,443
資産合計	41,109,049	40,057,499

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前 期
	平成20年12月31日現在	平成20年6月30日現在
(負債の部)		
流動負債	30,549,531	27,635,747
支払手形及び買掛金	7,133,311	7,249,152
短期借入金	7,225,231	5,800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,110,000	2,410,000
1年内償還予定の社債	360,000	376,000
未払法人税等	735,002	1,045,775
賞与引当金	284,798	265,086
その他の引当金	9,498	139,615
預り金	11,731,814	9,143,489
その他	959,875	1,206,627
固定負債	1,438,030	2,704,897
社債	420,000	440,000
長期借入金	400,000	1,630,000
繰延税金負債	60,920	69,739
退職給付引当金	498,099	504,939
その他	59,010	60,217
負債合計	31,987,562	30,340,644
(純資産の部)		
株主資本	5,825,944	5,066,929
資本金	1,835,604	1,831,833
資本剰余金	6,253,848	4,174,790
利益剰余金	△2,193,667	△937,772
自己株式	△69,840	△1,921
評価・換算差額等	△423,064	△275,894
その他有価証券評価差額金	△423,064	△275,894
新株予約権	4,071	4,071
少数株主持分	3,714,535	4,921,748
純資産合計	9,121,487	9,716,854
負債純資産合計	41,109,049	40,057,499

第2四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

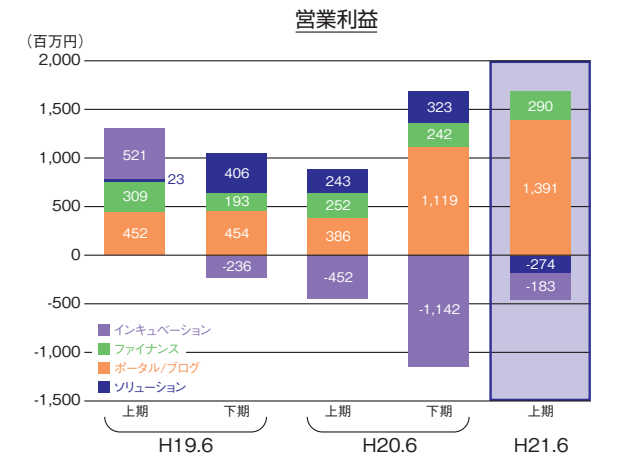
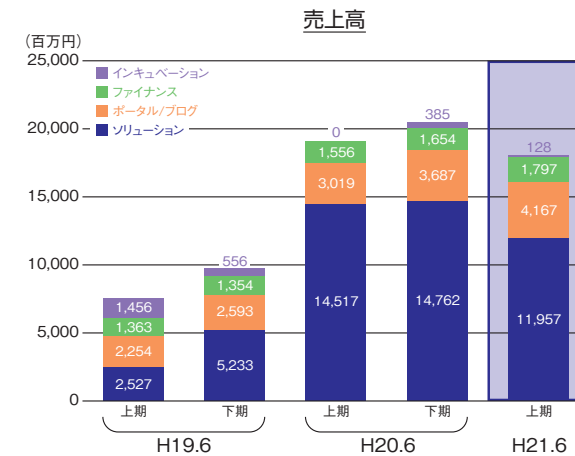
科 目	当第2四半期累計	前中間期
	自平成20年7月1日 至平成20年12月31日	自平成19年7月1日 至平成19年12月31日
売上高	18,051,589	19,093,343
売上原価	11,785,926	13,617,209
売上総利益	6,265,663	5,476,133
販売費及び一般管理費	5,574,451	5,657,330
営業利益又は損失(△)	691,211	△181,196
営業外収益	60,354	44,246
営業外費用	187,963	150,316
経常利益又は損失(△)	563,602	△287,267
特別利益	74,466	463,175
特別損失	490,356	69,132
税金等調整前四半期純利益	147,712	106,776
法人税、住民税及び事業税	763,773	688,208
法人税等調整額	75,496	△12,308
少数株主利益	564,336	315,276
四半期純損失(△)	△1,255,894	△884,400

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

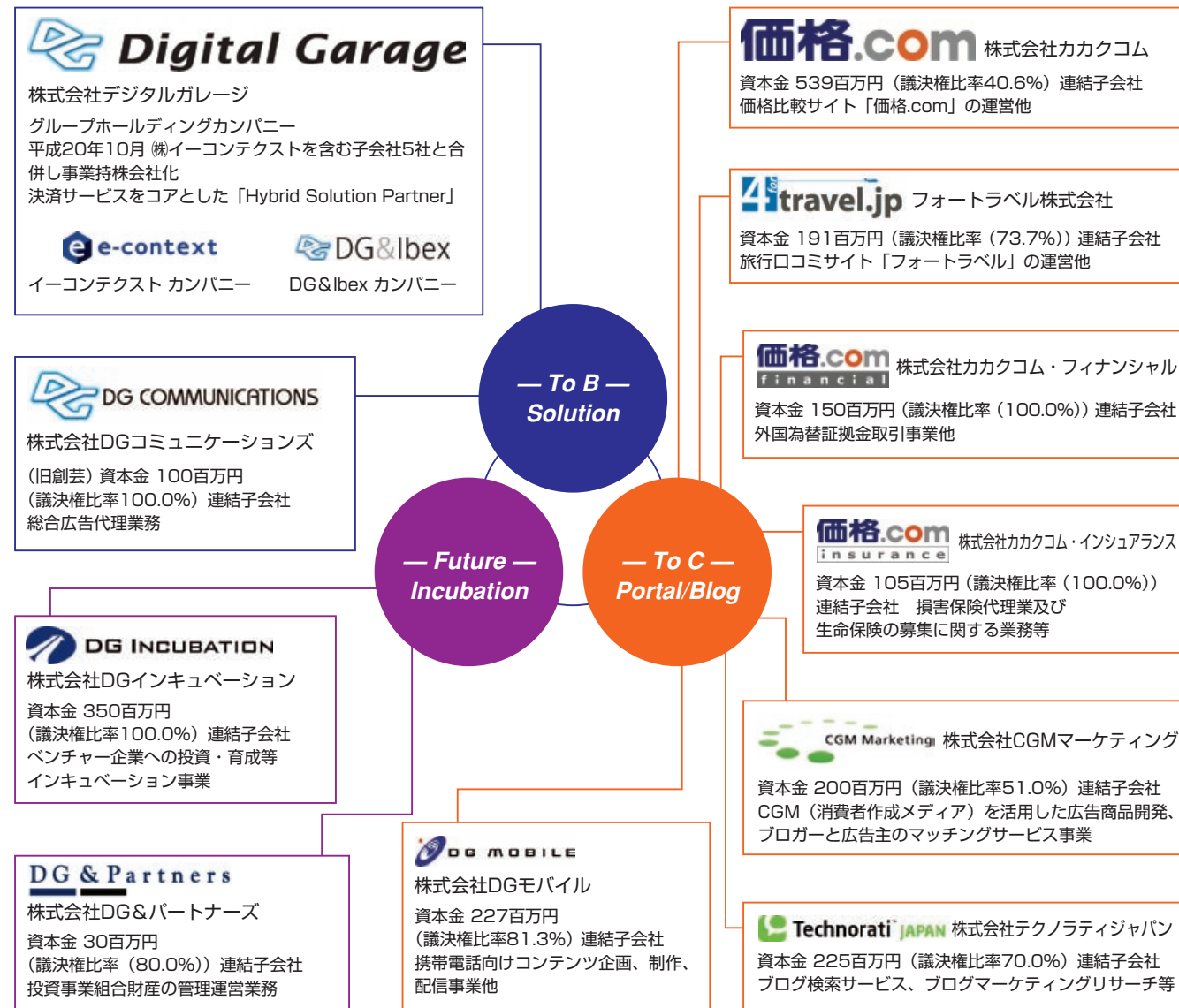
(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計	前中間期
	自平成20年7月1日 至平成20年12月31日	自平成19年7月1日 至平成19年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	734,600	△2,707,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△468,410	209,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,503	808,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,790	2,614
現金及び現金同等物の増加又は(△)減少額	85,895	△1,686,190
現金及び現金同等物の期首残高	10,951,418	11,509,880
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△6,232	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,031,082	9,823,690

連結セグメント売上高と営業利益の半期別推移



■ 主要なグループ各社の概要



※議決権比率の(内書)は、間接所有であります。

■ 主なグループサイト

Digital Garage
Hybrid Solution Partner
<http://www.garage.co.jp/>



4travel.jp
<http://4travel.jp/>



yoyaQ.com
<http://yoyaQ.com/>



価格.com
<http://kakaku.com/>



eiga.com
<http://eiga.com/>



Technorati JAPAN
<http://www.technorati.jp/>



食べログ
<http://tabelog.com/>



マンション選びのソムリエ DB
<http://mansion-db.com/>



Hyobans
<http://hyobans.technorati.jp/>



会社情報

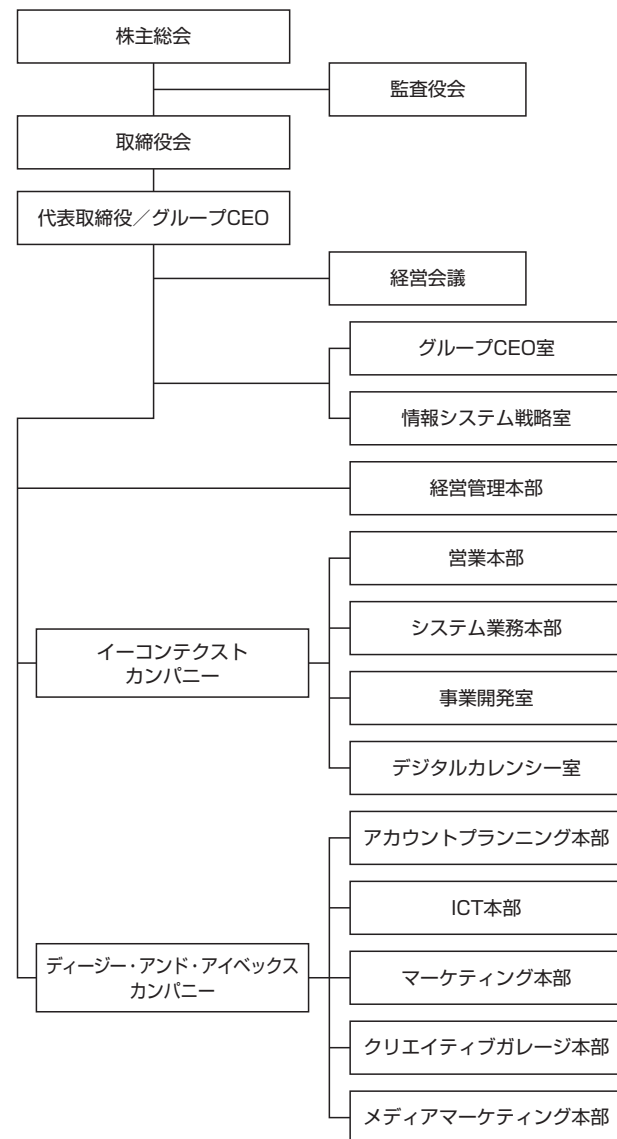
●会社概要

商号 株式会社デジタルガレージ
 設立 平成7年（1995年）8月17日
 事業内容 ・グループホールディングカンパニー
 ・平成20年10月（株）イーコンテクトを含む子会社5社と合併し事業持株会社化
 ・決済サービスをコアとした「Hybrid Solution Partner」
 従業員（単体） 220名
 （連結） 783名
 （平成20年12月31日現在）

●役員（平成20年12月31日現在）

代表取締役／グループCEO 林 郁
 取締役 西本 優 晴
 取締役 六彌太 恭 行
 取締役 櫻井 光 太
 取締役 小尾 一 介
 取締役 伊藤 穰 一
 取締役 藤原 謙 次
 常勤監査役 村松 康 充
 監査役 喜田村 洋 一
 監査役 大野 実 一
 監査役 安田 幸 一

●組織図



株式情報（平成20年12月31日現在）

●株式の状況

発行可能株式総数・・・600,000株
 発行済株式総数・・・185,886株
 議決権総数・・・184,602個
 株主数・・・5,311名

●大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	45,185	24.31
ステート ストリート バンク アドトラスト カンパニー 505104	11,630	6.26
ビービーエチ ルクス フィデリティ ファンズ パシフィック ファンド	10,943	5.89
T I S (株)	9,898	5.32
ザ チェース マンハッタン バンク 385036	8,450	4.55
日本 マスタートラスト 信託 銀行(株)	7,989	4.30
(有) ケ イ ・ ガ レ ー ジ	6,233	3.35
六 彌 太 恭 行	5,470	2.94
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイロンドン	3,426	1.84
エス エル オムニバス アカウント (株) ジャスト プラン ニング	3,276	1.76

●株価の推移



※分割調整後日足チャート。
 ※平成19年1月4日から平成21年1月22日までのデータ。

●株式分布状況

